



関西国際空港地震津波対応訓練の実施について

地震津波発生時の対応訓練を、下記のとおり実施します。

今回の訓練は、毎年実施しております「旅客ターミナルビル自衛消防・防災訓練」に、地震津波発生時に必要となる負傷者の救護や備蓄品配布、通信の確保等の対応訓練を組み合わせ実施するものです。

記

- 実施日時 2013年12月5日(木) 10:30～12:00
- 実施場所 第1ターミナルビル館内
空港幹線道路等
- 実施体制
主 催 新関西国際空港株式会社
関西国際空港旅客ターミナルビル共同防火・防災管理協議会
後 援 東南海・南海地震津波対策連絡協議会
- 目 的
地震津波発生時の対応として、空港従業員の防災意識向上、対応イメージの共有、実対応において生じる課題の抽出、対応内容の検証を目的として訓練を実施します。
- 参加人数
参加人員 約200名
- 訓練想定
大規模地震が発生、関西空港島では震度6弱が観測される。その後大阪府に津波警報が発表され、ターミナルビル内に旅客が避難、滞留する。
- 訓練内容
【旅客ターミナルビル自衛消防・防災訓練】
・ターミナルビル内における火災通報、初期消火、避難誘導訓練
【地震津波対応訓練】
・津波避難誘導訓練、津波避難周知訓練、EV 閉じ込め救助訓練、道路規制対応訓練
負傷者救護訓練、通信機能確保訓練、備蓄品配布訓練、通報連絡訓練
対策本部情報収集訓練
- その他
消防出動等の際は、訓練を中止する場合があります。

